授業科目	欧米文化交流研修 A					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	1	開講時期	前期
担当教員	西原　真弓						
授業概要	この授業は、夏季休暇中に実施されるオーストラリアシドニーでの語学研修＋海外インターンシッププログラムの事前準備と事後の振り返りを目的としています。現地に渡航するための様々な手続きを行うと共に、現地でインターンシップに参加するために必要な英語力やコミュニケーション能力の向上のための練習を行います。さらに、オーストラリアの文化や生活習慣などを事前に学習し、渡航後の現地での生活がスムーズに行えるように準備をします。事前授業は 12 回を予定しています。帰国後は、各自報告動画を作成し研修の振り返りをします。研修内容の詳細は、最初の授業で説明するので、参加希望の学生は必ず最初の授業に参加してください。						
授業形態	演習			授業方法	実践コミュニケーション、現地インターンシップ、ディスカッション		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1．オーストラリアの文化について理解をし、研修を無事に終えることができる。 2．英語でコミュニケーションをはかり、英語力の向上が見られる。 3．インターンシップを通し、日本との相違点を見つけることができる。
理想的レベル	1．オーストラリアの文化について主体的に理解しようとし、自分なりの研修の意義を見出すことができる。 2．積極的に英語でコミュニケーションをはかり、英語力に向上が見られると共に自信をつけることができる。 3．インターンシップを通し、日本とオーストラリアにおける文化の相違点を客観的に捉えることができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	50%	海外研修での成果をレポートで評価します。
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物	30%	渡航に向けての準備に関する提出物や英語力向上に向けての学習状況を評価します。
その他	20%	現地での取り組み姿勢を評価します。

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	T021801J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
英語コミュニケーション能力向上のための学習 オーストラリアに関する情報収集と理解 異文化理解に関する情報収集と理解	4

授業計画	
第 1 回	海外語学研修＋海外インターンシップについての説明 英会話練習（日常生活に必要な会話）
第 2 回	渡航手続きに関する一連の流れの理解 インターンシップ先決定のための英語面接＆カウンセリングの説明 英会話練習（Quick Response の練習の仕方）
第 3 回	オーストラリアについて知る 英会話（Quick Response 練習）
第 4 回	シドニーについて知る 英会話練習（自己表現）
第 5 回	オーストラリアの幼稚園について知る 英会話練習（会話を広げる）
第 6 回	申込書提出 オーストラリアの高校について知る 英会話練習（ホームステイ先での会話）
第 7 回	ホームステイについて理解する 英会話練習（体調を崩した時の会話）
第 8 回	日本について英語でオーストラリアの人たちに伝える
第 9 回	オーストラリアについて英語で話したり聞いたりする
第 10 回	保険の手続き、及び、西鉄旅行からの概要説明 異文化理解（カルチャーショックと異文化適応）
第 11 回	旅行に関する説明（西鉄旅行）及び、保険の証書を渡しての説明を行う。 異文化理解（オーストラリアと日本の習慣や価値観の違い）
第 12 回	異文化理解についての英語でのディスカッション
第 13 回	オーストラリア現地研修
第 14 回	オーストラリア現地研修
第 15 回	オーストラリア現地研修
テキスト	教員が資料を配布する
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業内で適宜紹介する
課題に対するフィードバックの方法	レポートと振り返りのための動画はコメントをつけて各自に返却します。 渡航に必要な手続きに関する提出物などはその都度、声掛けをしながら行います。 英語力向上のための自主学習については、適宜コメントを口頭で伝えます。

学生へのメッセージ・コメント	オーストラリアシドニーで、語学研修だけでなくインターンシップもできるプログラムです。実際に現地の人たちと一緒に働きながら、多くの異文化を体験できると思います。そのためにも出発前にはできるだけ英語で考え、英語で話せるように準備をしていきたいと思います。楽しい充実したオーストラリア生活ができるよう、参加する皆で協力し合いながら頑張りましょう。